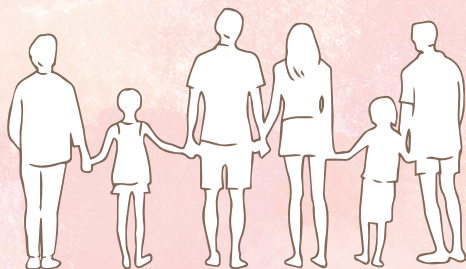


能登半島地震から1年

# 未来へ つむぐ

親子の手紙



石川県PTA連合会  
心の教育推進協議会



令和六年一月一日、石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。県内の各地で、様々な状況下に置かれながらも、命を守るため、日常生活を取り戻すために行動する家族の姿がありました。全国からの支援に支えられ、復旧・復興に向かう今も、家族は様々な場面に直面しながら家族の未来をつむぎ出そうとしています。

震災が起こった今年、六月三日から八月八日の期間に応募された「親子の手紙」二四、八一七点の中で、震災に関連する作品は六百七十七点にのぼりました。これらの作品からは震災下における家族の姿や思いがひしひしと伝わってきます。そこで、あの日から一年経った今、震災した日からの家族の姿を記憶に留めておきたいと考え、石川県PTA連合会と共同で、本冊子を作成し広く配付することといたしました。

この冊子を手にとってくださった方々をはじめ、多くの家族が日頃から互いを大切に思い合い、それぞれの幸せな未来をつむいでいくことを願っております。

令和六年能登半島地震及び奥能登豪雨により亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

心の教育推進協議会では、家族の話し合いを大切に、家族が互いの気持ちを理解することができるよう、平成十年度より、親子の架け橋一筆啓上「親子の手紙」を募集してまいりました。今年の募集作品には、震災に関する内容が多く寄せられました。能登半島地震から一年が経ち、復旧・復興に向かう中で、各家族が感じた様々な絆や互いへの思い、未来への願いなどを冊子として残し、家族のつながりの大切さを再認識するきっかけにさせていただきたいと願い、「未来へつむぐ親子の手紙〜能登半島地震から一年〜」を作成いたしました。

全60作品の中には、震災により、離れて暮らす家族が一緒にいたいと願う作品や、震災を家族で乗り越え、未来に向かおうと決意する作品などが見られました。

これらの作品から、多くの方々に家族で互いの思いを伝え合うことの大切さを感じ取っていただき、学校・家庭・地域社会の連携によって、社会全体で子どもたちの心を豊かに育んでいけるようお力添えいただければ幸いです。

心の教育推進協議会会長 石川県教育長 北野 喜樹

令和六年能登半島地震及び令和六年奥能登豪雨で被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。

震災後、私たち石川県PTA連合会に対して、公益社団法人日本PTA連絡協議会をはじめ、各都道府県・郡市町PTA連合会など多くの団体や個人の皆様からご支援をいただきましたこと、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。県内各市町PTA連合会を通して、被災されたPTA会員の皆様の元に、この支援が届きますよう懸命に取り組んでおります。

この「未来へつむぐ親子の手紙〜能登半島地震から一年〜」は、今回の能登半島地震等で実際にあったことを、思いのままに親子の手紙の形にして表されたものです。普段はなかなか話すことがなかった親子間の会話、親が被災先に出向くことになり、家にいない時間が多くなった家庭内の会話等、数多くの手紙が掲載されています。

全国のPTA関係の皆様にも、この冊子を読んでいただき、能登半島地震等からの復旧・復興に向かう私たち石川県の親子の生の声や姿を知っていただきたく作成した次第です。日本全国からいただいたお気持ちや子どもたちの未来につながりますことを切に願っております。

石川県PTA連合会 会長 宇田 直人

のとじしんで、

おじいちゃん、おばあちゃんの

いえがすめなくなり、

じしんがこわかった。

みんながあんぜんに、

くらせるようになりすように。

たなばたに

おねがいごとしたよ!!

たなばた  
七夕にお願いごとしてくれて、

ありがとう。ほんとう

早く避難生活が続いている

おじいちゃん・おばあちゃんが

安全に暮らせるといいね。

地震怖かったね。

みんな怪我なく

命あったことに感謝し、

たのしく過ごそうね。

高田 倅雅 (小1) かほく市

高田 千織 (母)

輪島で、

元旦がたんの震災しんさいにあい

とっても怖い思いおもをしているのに、

泣くなことなくママ達たちと

一生懸命いっしょうけんめい逃にげている姿すがたを見て、

とても心強こころづよく思ったよ。

でも、つらい時ときはいつでも

ママ達まえの前まえで

泣いてもいいからね。

地震じしん、ほんとうは

怖おそかったよ。

でも逃にげるのがんばれたよ。

みんな無事ぶじで良よかったよ。

泣きたかったけど、

泣なかなかったよ。

がんばったでしょう。

でも泣なきたくなったら

よろしくね。

山下やました  
郁美いくみ（母）

山下やました  
志音しおん（小1 七尾市）

大きくゆれた日、

こわいから

どこにも行かないでって

泣いてたね。

なのにぎゅって抱っこして、

すぐ仕事に行ってごめんね。

あの日のことおこってる？

でも忘れないで、

ママは莉子のこと

すぐぐだいに思ってるよ。

おこってないよ。

だってママは、

わたしのママだけど、

かんじゃさんにとっては

スーパーマンなんだよね？

だから、

かっこいいママだなんて

おもってるよ。

わたしも、だいすきな

ママみたいになりたいな。

佐竹 真由美 (母)

佐竹 莉子 (小1 七尾市)

じしんで、おとうさんが、  
しがけんへはたらきにいつて、  
さみしいよ。

でもおかあさんが

まいにちおるしなかんよ。

たいへんやから、

おてつだいするね。

あとちよつとがんばれば、

かぞくみんなそろろうし、

やきにくいこう。

小山 こやま 虹空 にこ (小1) 穴水町

もう地震は嫌だね。

泣きたい時は泣いてもいいよ。

寂しい時は寂しいって

言ってもいいよ。

お母さんは虹空の側にいるよ。

お父さんが来るまで

一緒にたくさん笑おう。

お父さんが来たら

頑張ったご褒美に

焼肉行くぞー。

小山 りさ 梨紗 (母)

いつも、ママは、やさしくて、

パパは、おもしろくて、

おにいちゃんは、

あたら新しい中学校でも

がんばっていて、

おねえちゃんはずぐ、

おこるけど、やさしくて

おとうとは

こぜるけどかわいくて、

そんなかぞくが大すきです。

※「こぜる」：すねる。飛騨の方言。

さわだ 澤田 ゆきの 千愛 (小2 輪島市)

いっしょ一緒にいるのが

あ当たり前まえだったのが

ひなんせい避難生活ではな離ればな離れになり、

あらためてかぞく家族のたいせつ大切さ、

家族一緒の

あんしん安心をかん感じています。

こせいゆた個性豊かなキャラクター、

一緒にいるとおおケンカも多いけど、

家族一緒がいちばん一番だね。

よろしくね。

さわだ 澤田 さとこ 聖子 (母)

おかあさん大すき。

じしんはこわかったけど、  
はなれたのが

一ばんさみしかったよ。

水が出なくても

いっしょにいたかったよ。

おかあさんがギューって

してくれたらこわくないよ。

これからは、

ずっといっしょにいてね。

寺山 てらやま 碧衣 あおい (小2 珠洲市)

碧衣大すきだよ。

心配 しんぱい で避難 ひなん させることを  
決めてごめんね。

さみしかったよね。

こわくなったらお母さんが

ギューってするからね。

多く おほ の人 たす に助けてもらって

今は いま いっしょ いっしょ に暮 く らせるね。

感謝 かんしゃ の気持 きもち ちを

わすれないでいこうね。

寺山 てらやま 育実 いくみ (母)

おとうさんへ

まい日しごとのじかんをへらして

わたしをむかえにきてくれて

ありがとう。

わたしはまい日おとうさんが、

むかえにきてくれるのが

うれしいです。

かえったらおとうさんが

すきなえいがを

いっしょに見ようね。

震災しんさいご後、しばらく離はなれて

暮くらすことになって

さみしかったけど、瑠璃いっしょと一緒に

暮らせるようになって、

うれしかったよ。

だから、毎日まいにちの送り迎むかえも

楽たのしいよ。

ちなみに、仕事しごとの時間じかんは、

これまでが長過ながすぎただけで、

普通ふつうです。

西本にしもと 瑠璃るり (小2 珠洲市)

西本にしもと 健たける (父)

お母さん、お父さん

ぼくをじしんの時とき、

まもってくれてありがとう。

ぼくはじしんのアラームが

こわかったけど

お母さんとお父さんが

いたからこわい気もちが

ちよっとへったよ。

まもってくれてありがとう。

西田にした 幸正ゆきまさ (小3) 能美市

じしんがあった時、

幸正が平気へいきなフリをしていたこと、

ずっと気になっとったよ。

こわいって言いえる様ように

なつてよかった。

いつでも幸正をまもりたいけど、

気づけん時もあるから、

助たすけてほしい時は

声こゑにだしてね。

西田さいだ 沙織さおり (母)

ばあちゃんへ

地しんで家が

なくなってしまうたけど

いのちがあるからよかったよ。

ぼくの家に来てくれて、

いっしょに畑はたけができたり

遊あそんだりできてうれしいよ。

こしを大事だいじにして

ずっと元気げんきでいてね。

あまりしゃべらない

誠也君くんだけど、ばあちゃんには、

とてもやさしくしてくれて、

ありがとうネ。

じしんの時は、こわかったね。

でも誠也君のパパ、ママ

そして優里ゆうりちゃんがいて

心強こころづよかったです。

またいっしょに遊びましょ。

萩原 誠也 (小3 金沢市)

有野 教子 (祖母)

地しんではあちゃんちに

ひなんして半年<sup>はんとし</sup>。

毎日<sup>まいにち</sup>の「早くねなさい。」には

うんざりだけど、本当<sup>ほんとう</sup>は

いっしょにくらせてうれしいよ。

学童<sup>がくどう</sup>そ開<sup>かい</sup>の話<sup>はなし</sup>はじいんとするし、

おいしいごはんは

体<sup>からだ</sup>がほかほかするんだ。

いつもありがとう。

瀧平<sup>たきひら</sup> 悠人<sup>ゆうと</sup> (小3 宝達志水町)

寝<sup>ね</sup>る子は育<sup>そだ</sup>つ。

でも口うるさくしてごめんね。

気を付<sup>つ</sup>けるね。

ばあちゃんの戦争<sup>せんそう</sup>体験<sup>たいけん</sup>談<sup>だん</sup>や

ダシの効<sup>き</sup>いた野菜<sup>やさい</sup>たっぷりの料理<sup>りょうり</sup>が

大好き<sup>だいす</sup>な孫<sup>まご</sup>の身<sup>み</sup>になってくれたら

ばあちゃんの気持<sup>きもち</sup>ちも

暖<sup>あたた</sup>かく優<sup>やさ</sup>しくなって

長生<sup>ながい</sup>きできそうよ。

茶臼<sup>ちやばたけ</sup> 美智子<sup>みちこ</sup> (祖母)

ぼくは兵庫のおじいちゃんの家

お母さんは七尾の家

大地しんがあつた。

三週間むかえに来てくれるのを

まっていたから、

お母さんの顔を見た時に

ほっとしたよ。

地しんはこわいけど、

家ぞくと家にいられてうれしいな。

大地震の日、

橙輝が七尾にいらなくて

本当によかった。

余震と断水が続き、三週間後に

やっと迎えに行けたよ。

元気な顔が見れた時、

お母さんもほっとしたよ。

家族みんなで暮らす日常は、

かけがえのないものだ

と気づかされたね。

橋本 橙輝 (小3 七尾市)

橋本 祐美 (母)

バナナは珠洲から

小松に来てちやんと育ててるね。

大樹のバナナ愛のおかげかな。

大樹も家族みんなの

(時にはスパルタ!?)

愛があるから、

小松でも大丈夫。

バナナも大樹もきつと花が咲く。

信じて生きていこうね。

松原 久美子 (母)

バナナの事、ぼくの事を

信じてくれてありがとう。

小松で花がさいたら

ねんがんのバナナだね。

ぼくのバナナ愛はすごいから、

あつという間に

育つかもね。

いつか家族やすずのみんなと

おいしいバナナを食べようね。

松原 大樹 (小4 小松市)

きらへ

いつもバスケット

学校おつかれさま。

バスケットをがんばっている

きらを見ているのが

パパはとても楽しいです。

これからも、

バスケットや学校生活を

楽しんでください。

パパおかえり。

のとお仕事おつかれさま。

パパがのにいる時

きはパパいつ帰ってくるのかなと

思ってたよ。

たまにかかるパパからの

電話を楽しみに毎日まっていたよ。

次のと行った時かならず

電話してね。大好きだよ。

かみで  
上出 俊樹 (父)

きら  
上出 綺羅 (小4 内灘町)

「ママとパパは仕事しごとだから、

ここで待まちっててね」と、

地震じしんで市役所しやくしょにひなんしてきた人の

ために働はたらくママは、

かっこよくて、

わたしのじまんだよ。

でもね、大丈夫だいじょうぶって

言いっていたけど、

本当ほんとうは、不安ふあんでこわかったんだよ。

一番不安いちばんなときに、

ママもパパもいなくてごめんね。

そして、妹いもうとも守まもってくれて

ありがとう。

きほの笑顔えがおでの、

「大丈夫だいじょうぶ。ママもがんばってね」

の一言ひとことは、ママに勇気ゆうきをくれたよ。

きほの優やさしい笑顔は

ママのじまんだよ。

森田もりた 樹歩きはほ  
(小4 羽咋市)

森田もりた 里美さとみ  
(母)

大地震だいじしんがきた時とき、

とっさに0才さいの妹いもうとに

おおいかぶさって

命いのちを守まもっていた溼みお。

今いまでもあの時ときの光景こうけいは

しっかり覚おぼえています。

普段ふだんはだらだらとして

反抗はんこうもしてくるけど、

あなたは家族かぞくを守まもってくれた、

じまんの子です。

0才さいの妹いもうとが一人ひとりで

こわそうにしているのを

じっと見ている

わけにはいかないからね。

やるときはやるんだよ。

みおは当あたり前まえのことを

しただけだよ。

ずうっと何なにがあっても

みおはママの

じまんの子でいたいよ。

伊藤いとう 真奈美まなみ (母)

伊藤いとう 溼みお (小4 七尾市)

おばあちゃんといっしょに

生活せいかつできて、

幸せしあわだなあとおも思うよ。

いつだって私わたしを

笑顔えがおにしてくれるし、

かなしんでいる時ときは、

なぐさめてくれる。

だからおねがいだよ。

いつまでも元気で

私のそばにいてね。大好きだよ。

端はし 日菜乃ひなの（小4 七尾市）

ばあちゃんも八十一歳さい。

地震じしんのシヨックから

元気げんきも一気に

なくなってしまったから、

ひなちゃんがいてくれて、

ばあちゃんこそうれしいよ。

ひなちゃんの成人式せいじんしきを目標もくひょうに、

もう少しすこがんばってみるよ。

よろしくね。

大橋おおはし 昭子あきこ（祖母）

一月一日の大地震で

お母さんは三人の子どもを

守っていた。

そんなお母さんのすがたは

とても勇ましかった。

家族みんながたすかったのは

きっとお母さんのおかげだと思っ

これからも家族を

守りつづけてね。

あの時、お母さんは

あなたたちを

守ることに必死でした。

こんなことが起こるなんて

思ってもいなかった。

大変なこと、

つらいことも沢山あったけど、

みんなで力をあわせて

のりこえていこうね。

新谷 楓 (小4 能登町)

新谷 望 (母)

能登半島地震のとき、

守<sup>まも</sup>ってくれてありがとう。

あの時は水も出ない生活<sup>せいかつ</sup>で

大変<sup>たいへん</sup>でしたね。

つなみは、家<sup>いえ</sup>の中に

入ってしまったし、

家はかたむいていますね。

今、父ちゃん、母ちゃんは

たいへんですね。

おつかれさま。

船本<sup>ふなもと</sup> 伶鼓<sup>れつづ</sup> (小4 能登町)

大きな地震がきて、

たくさん怖い思い<sup>おも</sup>したね。

半年<sup>はんとし</sup>たった今<sup>いま</sup>でも

我慢<sup>がまん</sup>ばかりだけど、

毎日<sup>まいにち</sup>笑顔<sup>えがお</sup>でいてくれて

ありがとう。

いろんな人<sup>ひと</sup>達<sup>たち</sup>に

助<sup>たす</sup>けてもらった事<sup>こと</sup>を忘<sup>わす</sup>れずに、

大人<sup>おとな</sup>になったら

助けてあげられる人<sup>ひと</sup>になってね。

船本<sup>ふなもと</sup> 清香<sup>さやか</sup> (母)

地しんの時、じしんの時

消防団で活動しょうぼうだん かつどうしていて、

あまり会あえなかつたね。

でも、お父さんのすがたが見えて、

わたしはとつても安心あんしんしたよ。

家族かぞくのだけ一人

はなればなれになりたくないと思

っているよ。

これからも、がんばってね。

あの時、お父さんは、

にげおくられている人が

いないかをかくにんしながら

ひなん先に向むかっていたんだよ。

夜中よなかにみんなに会えて、

とても安心しました。

これからも家族みんなで、

仲良なかよくがんばっていきましょうね。

西にし こはる (小4 珠洲市)

西にし 靖典やすのり (父)

お父さん、地震じしんがおきてから  
いつもしんどいよね。

朝あさ早くから夜よるおそくまで仕事しごと。

その顔かおから

本当ほんとうにつらいのが分わかるよ。

あんな地震おきなきや

よかったのに。

お父さん、また地震じしん前まえみたいに

元げん気きになってほしいです。

高橋たかはし 彩佳あやか  
(小5 小松市)

お父さんの心配しんぱいをしてくれて  
ありがとう。

確たしかに、仕事しごとの帰かえりが

遅おそくなったり、休日きゅうじつに

仕事しごとに出でかける事こともあつたりで、

心配しんぱいや迷惑めいわくを

かけてるだらうけど、

地震じしんからの復興ふっこうに

みんな頑がん張ばっているから、

もう少すこし我慢がまんだね。

高橋たかはし 剛こういち  
(父)

あたらしい年の始まりに  
能登で地震にあつて

怖かつたね。

停電・断水を初めて経験。

不安もたくさんあつたと

思うけど、

わがままを言わず

一緒に乗り越えてくれて

ありがとう。

藤本 貴子（母）

初めて経験した大きな地しん、  
本当にこわかつた。

水も出なかつた。

電気もこなかつた。

当たり前にあることが、

当たり前ではないことが

わかつた。

一番大事なものは、

みんなの命があつたこと。

藤本 結生（小5 白山市）

一月一日、

大きな地しんがあつたよね。

その時ぎゅつと守つてくれたね。

すごくこわかったけど

安心したよ。

でも知っているよ。

お母さんもこわくて

ふるえていたことを。

私も大事な人を守る

強くて優しい人になりたいな。

福田 紗千 (小5 津幡町)

守らなきゃ!!と

とっさに抱きしめたけど、

本当はこわくて…。

さちが不安になると思っ

て平気な顔をしていたけど、

ばれてたんだね。

あの時みんなのお母さんも

必死に子ども達を

守っていたと思うよ。

お母さんって強いんだよ!

福田 千恵 (母)

パパが地震の影響で

輪島に行ってから、

ママが家の事全部と自分の仕事と

ぼくたち三人のおせわを

してくれているね。

毎日ばたばた大変そう。

だからママは、

ちよつとイライラ。

でもね、ぼくも手伝うし

ママの笑顔が見たいよ。

西田 朝陽 (小5 かほく市)

ドキリ!

パパが単身赴任になって

いっぱいいっぱいになってるかも。

「君たちを守らなきゃ!」って

思ってるよ。

毎晩寝顔を見ながら

「怒ってばっかでごめん。」って

一人反省会です。

頼りになる朝陽。

ありがとう。笑顔でいるね。

西田 美紀 (母)

おじいちゃん、

わたしの大好きなか屋さんを、  
再開してくれて、ありがとう。

たくさんお客さんも来てくれて、

大変だけれどうれしいね。

私のじまんのお店だよ。

夏休みは私も

皿洗いやかた付けを

手伝うから待っていてね。

室坂 彩菜（小5 志賀町）

わたしは七十五歳。

地震でお店がこわれた時は、  
もうお店は閉めようと思った。

でも、彩菜が、

「待ってくれてるお客さんが、

たくさんいるよ。」って、

言ってくれたから、

もう一度おいしい料理を作るよ。

がんばるからね。

徳野 外茂男（祖父）

あの時<sup>とき</sup>行<sup>い</sup>った千枚田<sup>せんまいだ</sup>、

ひ害<sup>がい</sup>を受<sup>う</sup>けてしまったけど、

いつかは、

また行けるかな。

丘<sup>おか</sup>の上から見た景色<sup>けしき</sup>は、

星空<sup>ほしぞら</sup>のようにきれいだっただね。

またあそこに行こう、

今度は家族<sup>かぞく</sup>みんなで。

能登<sup>のと</sup>の景観<sup>けいかん</sup>は

地震<sup>じしん</sup>で変<sup>か</sup>わってしまったけれど、

復興<sup>ふっこう</sup>のために、

沢山<sup>たくさん</sup>の人達<sup>ひとたち</sup>が

頑張<sup>がんば</sup>ってくれているよ。

今度<sup>こんど</sup>見る千枚田<sup>せんまいだ</sup>からの星空<sup>ほしぞら</sup>は、

ありがとうがいっぱい溢<sup>あふ</sup>れて

一段<sup>いちだん</sup>と綺麗<sup>きれい</sup>に見えるはずだから、

いつか必<sup>かなら</sup>ず家族<sup>かぞく</sup>で行<sup>い</sup>こう！

N・M (小5 中能登町)

N・K (母)

「杏季なら大丈夫」

県の陸上の大会の時に

そう言ってくれて安心できたよ。

去年はいつも通り

走れなかったけど、

今年は目標記録が出せて、

すごくうれしかったな。

苦しいかべをいっしょに

乗りこえてくれてありがとう。

超えると決めた目標に届かず、

くやし泣きましたね。

次に向け練習していた時の地震。

使えなくなつた競技場を見て

辛くて泣いたね。

それでも昨日の自分を

超えると言いなながら

よくがんばりました。

次はたくさん笑おうね。

山崎 杏季 (小5 輪島市)

山崎 美千代 (母)

お母さんは、

いつも市役所しやくしよで働はたらいていて

疲つかれているのに、

ニコニコしているけど、

無理むりをしてない？

私わたしは別べつに無理むりして

「大丈夫だいじょうぶ」なんて言いってないから、

お母おさんも疲つかれた時ときは

私わたしに言いってね。

いつでも素直すなおに伝つたえてほしい。

無理むりしてないって

言いったらウソになる。

疲つかれてるよ。若わかくないからね。

この半はん年としあまり、

いろんな事ことがあつたね。

ありすぎたよ。

早いく家いえに帰かえれたら、

真まっ先ま先に叶衣かなえに

「あゝ疲つかれたゝ」って

言いいたい！

高野たかの 叶衣かなえ (小5 輪島市)

高野たかの 律子りつこ (母)

お母さんいつも

仕事しごとの帰りかえがおおそくなって

自衛隊じえいたいのお風呂ふろに入り

行くいのがおおそくなるね。

でも、一緒いっしょにゆぶねに

入いってゆゆっくり話はなす事ことが

出来できて嬉うれしいよ。

これからも

お仕事おしごとたくさんがんばって。

お母さんだいす大好きだよ。

時兼ときかね 菜緒なほ（小5 珠洲市）

「まだあ」と決きまった時間じかんに

お風呂お風呂に行く催促さいそくの電話でんわ。

いつも待またせてごめんね。

疲つかれていても

温あたたかいお風呂お風呂に入いって

菜緒なほと話はなす時間じかんが持もって幸しあせだ。

もっと早く帰かえれば

もっとゆゆっくり話はなせるね。

早く帰かえれるよう頑がん張ばるね。

時兼ときかね 和美かずみ（母）

お母さんに行く

自衛隊のお風呂は、

とっても話がはずみます。

今日の出来事や

いらついたことなどを話すと

すっきりして上がれます。

さらに、テントを出た後の

風がいつもさわやかで

気持ちいいんです。

いつもありがとう。

寺田 夏絵 (小5 珠洲市)

お母さんも

自衛隊のお風呂が大好きです。

地震で当たり前の生活が

できなくて辛かったけど、

家より大きなお風呂に

いやされたね。

悲しい事、辛い事、

全部洗い流して

明日もがんばろうね。

そして皆さんへの感謝を忘れずに。

寺田 知絵 (母)

いつもバスケの練習れんしゅうの

おくりむかえを

してくれてありがとう。

だから毎日時間まいにちじかん内に

おくれずに練習場所ばしょに

ついているよ。

たまにケガをして帰かえってくる時とき、

心配しんぱいしてくれてありがとう。

これからも

よろしくおねがいます。

地震じしんがあつて、

沢山たくさん我慢がまんをしてきたから、

バスケだけは我慢がまんせずに

思い切りおもいきりやらせたい。

それが家族かぞくの願いねがいであり、

今いまでは希望きぼうです。

皆みなで思おもいつ切り応援おうえんするね。

珠洲すずのばあちゃんふたり二人、

「背せ抜ぬかれたよ」って

嬉うれしそうだったよ。

小林こばやし 暖真はるま (小6 野々市市)

小林こばやし 百合子ゆりこ (母)

しょうがつ  
じしん  
正月の地震

すごくこわかった。

パパがいてくれたから

泣かずにのりこえられたよ。

あの日見た星空覚えてる？

ぼくは一生わすれないよ。

今はまだこわいが勝つけど、

いつか心の準備ができれば

また能登の星を見ようね。

みちした  
こうま  
道下 煌真 (小6 金沢市)

いつか煌真たちに見せたいと

思っていた能登の星空を、

まさかあんな形で

見ることになるとは

思ってたなかった。

でもあの星空のおかげで、

少しでも気持ち

落ち着けることができたね。

いつかまた星座を

見つけに行こうね。

みまさひろ  
道下 雅裕 (父)

うしつばあば、元げん気きですか。

地震じしんでお祭りまつりができるか

心配しんぱいだったけど

できることになったね。

私わたしはうしつばあばの

たくさんの料理りょうりが大だい好すきです。

大たい変へんなこともあるけど

今年ことしのお祭まつりりは、

おもいっきり楽たのしもうね。

大だい好すきだよ。

お祭りまつり楽たのしんでくれてよかった。

来らい年ねんは今年ことしより

もっともっと楽たのしもう。

元げん気きが出るように

さりげないラインも

涙なみだが出るほどうれしかった。

りーちゃんの

やさしさに大だい感かん謝しゃ、

大だい大だい好すきだよ。

葛つたはま濱ま 莉り帆ほ (小6 内灘町)

久ひさ田だ ゆかり (祖母)

一月一日の地震こわかったね。

でもお母さんが

「大丈夫」と何度も言ってる

だきしめてくれて

必死に守ってくれて安心したよ。

みんな無事で良かった。

私を守ってくれてありがとう。

今度何かあったら

私が守るね。

西盛 音歩 (小6 かほく市)

大きな地震でびっくりしたね。

実はあの時、

お母さんもすごく怖かったし、

震えていたんだよ。

でも、とあやお兄ちゃんを

守るのにとにかく必死だった。

「私が守るね」

とても頼もしくて

心強い言葉をありがとう。

西盛 沙樹 (母)

父へ

震災しんさいがあつてぼくの家は

全ぜんかになり住すめなくなつた。

それでも、父は

消防団しょうぼうだんの活動かつどうや会社かいしゃの仕事しごと、

家の片付けかたづけを

がんばつてくれてありがとう。

ぼくも家の片付けを

手伝てつだいたいよ。

いっしょにがんばろう。

川瀧かわたき 隼しゅん（小6 志賀町）

一瞬いっしゆんにして今いままでの

生活せいかつが奪うばわれ、自然災害しぜんさいがいの

恐おそろしさを実感じっかんしたね。

「ぼくらの未来みらいの家」と

隼かんがが考えた図面ずめんを見て

ハツとしたよ。

家族かぞくのために頑張がんばろうと

思おもわせてくれてありがとう。

みんなで乗のり越こえて

再さいスタートだ！

川瀧かわたき 剛志たけし（父）

さいきん わたし  
最近 は私もお母さんも

たいへん とく  
大変で特にお母さんは、

じしん えいきょう しごと  
地震の影響で仕事が

おお  
多くなっているし、

たいちょうわる  
体調悪くなる時あるし、

しんぱい  
心配だよ。

かじ まか  
家事も任せつきりであまり

てつだ  
お手伝いできなくてごめんね。

ぜつたい おんがえ  
絶対いつか恩返しするから

ま  
待っててね!!

くろつち ゆいか  
黒土 結華 (小6 七尾市)

お母さんのこと

心配してくれて、ありがとう。

あご  
地震の後は、

きんむ ふ  
休日勤務も増えて

いっしょ す じかん  
一緒に過ごす時間も

すく  
少なくなっていてごめんね。

まいにち  
結華も、毎日を

がんばっているね。

いっしょうけんめい すがた  
あなたの一生懸命な姿が、

なに  
何よりの恩返しになっているよ!!

くろつち みき  
黒土 美紀 (母)

お母さん、

いつもぼくたちのために

仕事しごとをがんばってくれて

ありがとう。

地じしんから土日も

仕事しごとがあったりして大変たいへんだよ。

たまには、しっかり

休日きゅうじつをとって体からだを休やすませてね。

これからもがんばってね。

大好きだいすきだよ。

梅田うめだ 稜矢りょうや  
(小6 輪島市)

地震じしんのその日から、

お母さんは休みもなく

ずっと仕事しごとになりました。

市外しがいへ避難ひなんさせた稜矢りょうやとは

会あえない日ひが長ながく続つづき、

稜矢りょうやにもつらい思おもいをさせたよ。

今いまは仮設住宅かせつじゅうたくでも

毎日まいにち稜矢りょうやといられて幸しあわせです。

大好きだいすきだよ。

梅田うめだ 佳代子かよこ  
(母)

自分じぶんは、父親ちちおやと母親ははおやに、

感謝かんしゃしています。

地震じしんの時とき、

私わたしを落おち着つかせてくれたり、

かぜの時にかんびようしてくれたり、

いたれりつくせりでした。

本ほん当とうにありがとう。

これからも三人たので楽たのしく

暮くらせたらいいなと思おもいます。

今年ことしはいろいろな人ひとに

支さえられてここまでこれました。

よくがんばりました。

泣なきたい時ときもあつたと思います。

弱よわった自分自分を見みせて

心しん配ぱいさせないよう笑わらつてた顔かおを

一いっ生せい忘わすれません。

元げん気き出いました。

ありがとう。大だい好いきです。

丸井まるい 桜咲ささ  
(小6 輪島市)

丸井まるい 慶太けいた  
(父)

いえ  
家、学び、友達<sup>ともたち</sup>。

とつぜん  
突然、ぼく達<sup>たち</sup>から

さまざまなものをうばった

の<sup>の</sup>はんとうじしん  
能登半島地震。

ぼくはずっとここにいる。

でこぼこの道路<sup>どうろ</sup>、

たお  
倒れた家<sup>が</sup>逆<sup>さか</sup>に見慣<sup>み</sup>れた景色<sup>けしき</sup>。

でも今<sup>いま</sup>も怖<sup>こわ</sup>い。

それでもぼくは、珠洲<sup>すず</sup>が好<sup>す</sup>き。

これからどうなるの。

新<sup>しん</sup> 泰地<sup>たいち</sup>（小6 珠洲市）

怖<sup>こわ</sup>かったね。

たくさんの我慢<sup>がまん</sup>や不安<sup>ふあん</sup>。

泰地<sup>たいち</sup>の大好き<sup>だいす</sup>な珠洲<sup>すず</sup>は今<sup>こんご</sup>後<sup>ご</sup>、

どうなっていくのかな。

いのち  
命<sup>いのち</sup>の危険<sup>きけん</sup>を感じ<sup>かん</sup>たり、

みな  
皆<sup>みな</sup>で助け合<sup>あ</sup>ったりした

ひなんじょ  
避難所<sup>ひなんじょ</sup>での生活<sup>せいかつ</sup>。

はじ  
初めての経験<sup>けいけん</sup>ばかりが続<sup>つづ</sup>くけど、

この経験<sup>けいけん</sup>を糧<sup>かて</sup>にして

まえ  
前<sup>まえ</sup>を向<sup>む</sup>いて進<sup>すす</sup>もう。

新<sup>しん</sup> 結花<sup>ゆか</sup>（母）

震災後、地元のお風呂へ

一緒に行くようになったことで

ゆっくり二人で

話す時間が増えたね。

今、沙良と色々な話が

出来るこの一時が一番幸せで

疲れがとれるよ。

あなたが居るから頑張れます。

癒しをくれてありがとう。

綱島 美和（母）

地震の時はびっくりしたけれど

最初に私にジャンパーを着せて

にがしてくれてありがとう。

そして、震災後

すごく怖かったけど、

ずっと一緒にねてくれたし

お風呂と一緒に入って

いっぱいお話を聞いてくれて

うれしいよ。

綱島 沙良（小6 珠洲市）

地震で家がつぶれた。

去年初めて

わんぱく相撲大会で

両国国技館へ行けたメダルも、

つぶれた家の中。

地震でかなしい事もあったけど

今年も両国国技館行くよ。

ぼく、力いっぱい

がんばるから応援してね。

地震で家がつぶれたね。

メダル取り出せなくてごめんね。

「ぼく、今年も国技館行きたい」

地震で練習するのも

難しい中よく頑張ったね。

わんぱくで勝った時

家族皆よろこんだよ。

今年も力いっぱい

応援するからね。

岡田 圭央 (小6 珠洲市)

岡田 希美恵 (母)

お父さんへ

一月一日に起こった地震で

いつも夜おそくまで

仕事の日が多くなりましたね。

それでも休みの日には、

サツカーの送りむかえや、

家族との時間を

大切にしてくれてありがとうございます。

早く石川県が

復興するといいですね。

田丸 尊正 (中1 加賀市)

一月一日の能登半島地震では、

多くの人達が被災しました。

幸い私達は大した被害もなく

過ごしています。

能登の人達が早く

通常の生活に戻れるように

なるといいですね。

微力ですが、私達も

協力していきましょう。

田丸 昌成 (父)

地震じしんがきて、

他ほかの小学校に行くことに

なったとき、「大丈夫だいじょうぶや」って

言いってくれたのが

心こころの支さえになつたよ。

たまたまに夜よる、ビデオ通話つうわしたり

会あいに来てくれたりしたのが

うれしかったし

「学校ががんばろ。」と思おもつたよ。

ありがとう。

よくがんばった一ヶ月。

ママのおまじないが

効きいたようだ。

でもママも心配しんぱいだったよ。

お友とも達たちが出来できて、

一いっしょ緒しょに帰かえって来くる姿すがたを見て、

この子は、

どこでもやっていけるんだ！と

誇ほこらしく思おもえたよ。

悪わるい事ことばかりじゃない！

松田まつだ 栄香ひろか (中1) 穴水町

松田 みゆり (母)

じいちゃん、

一月一日の能登半島地震で

怖い思いをしました。

だから、息抜きとして

夏休みになったら

家族みんなで

釣りに行きたいね。

怖い思いをしたから

みんなで楽しい思い出を

新しく作ろうね。

和田 泰輝（中1 穴水町）

一月の地震によって、

これまで魚釣りをしていた

場所では釣りは

できなくなりました。

海岸が隆起し、海が浅く遠く

なってしまったからです。

どこか良い場所を

見つけておきます。

夏休みには、

みんなで釣りをしましょう。

奥原 寿（祖父）

いつも、休みの日に

僕ぼくが分わからない問題もんだいを

分わかりやすく教おしえてくれる

お母おさんが、大だい好きすです。

難むずかしい問題もんだいが終おわったら、

「明あした日あしたもできるかな」

っおもて思おもいます。

いつもありがとう。

地震じしん後ごに、学がく校こうにも通かよえず、

家いえにも帰かえれず、

生せいきることに精せい一杯いっぱいで

やあつと新あたらしい家あたら・中ちゅう学がく校こうを

見みつけたよ。

勉べん強きょうはとたても難がたしいけれど、

学がく校こう生せい活かつを楽たのしみながら、

分わからないことことが分わかるようように

なるようようにがんばろうね。

池いけ浦うら 智とも也や (中ちゅう一いつ) 輪りん島じま市し

池いけ浦うら 直なお美み (母はは)

のとはんとうじしん  
能登半島地震が起きて、

すうしゅうかん  
数週間ぶりに会うと

やせていてびっくりしました。

ひなん所じよで市役所しやくしよに

勤つとめている人を見ると

とても忙いそがしそうで、

こんな大変たいへんな仕事しごとなんだと

おどろきました。

仕事を頑張がんばってくれて

ありがとう。

H・M (中1 輪島市)

市役所の仕事は

普段ふだん見えにくいけれども、

いざというとき必要ひつようとなる仕事です。

自分じぶんは別の避難所ひなんじよで

対応たいおうしていたので

しばらく会えなかったけれど、

無事ぶじに避難生活せいかつを

過すぎしてくれていて

ほっとしました。

ありがとう。

H・M (父)

お母さん俺おれしあわ幸せだよ。

地震じしんちよくご直後、金沢かなざわに避難ひなんして

野球やきゅうが出来できなくなっただけど、

珠洲すずに戻もどってきて

俺きづ気付いたんだ。

珠洲だいすで大好きな先輩せんぱい達と

野球が出来さいこうて最高たのに楽しいって、

地震おかげのおかげで気付いたんだ。

俺最高さいこうに幸せだよ!!

今井いまい 瑛次てるつぐ (中1) 珠洲市

先が見えない中、転校てんこうも考えかんがた。

でも、本当ほんとうだね。

地震かげのお陰で

大切な事ことに気付けたね。

野球よろこが出来る喜び、

仲間なかまの大切さ、日常にちじょうへの感謝かんしゃ。

今いま、あなたが幸せだという事を

教えておしくれて有難ありがとう。

あなたの幸せははが母の幸せです。

今井いまい 麻紀子まきこ (母)

父に

「親子の手紙書いてほしい。」と  
お願いしたけど

「俺書いたことないし。」と  
断られ泣いてましたね。

父はシャイなんです。

地震の時、家族が

水を使えるようにと四ヶ月毎日、

川の水くみをしていた位

家族を思っているよ。

権元 誠子（母）

正直こんな事で

泣くなんてと自分  
不甲斐なく思っています。

自分も本当の気持ち  
親に伝えないで

めいわくをかけまくって、

自分が嫌いになる事が

多々あります。

でも、家族には、感謝の

気持ちでいっぱいです。

権元 紗唯妃（中1 珠洲市）

地震から半年が

経ちましたね。

半年経った今も

鮮明に覚えているのは、

防災士として多くの人が

集まる避難所を運営する

お父さんの姿です。

お年よりから子供まで

誰にでも笑顔で話すのを見て

私も安心したよ。ありがとう。

小川 瑠璃（中2） 川北町

二〇一一年三月、

東日本大震災が発災。

こんな大地震や災害から

家族を守りたいと思ったのが

防災士になるきっかけでした。

今年の大地震の避難所では

皆を不安にさせない様に

振る舞いました。

少しはお役に立てたかな。

小川 真一（父）

正月の能登半島地震、

立てない程の揺れの後、

津波警報が鳴り響いて、

めちやくちや焦った。

あの時、すぐく怖かったけど、

母さんが手をつないで

くれていたから落ち着いて

避難できたよ。

ありがとう。

人の温もりって安心するよね。

大地震と津波という状況下、

無意識に手を繋いだ。

久々に繋いだ君の手は

母さんよりも

大きくなっていたけど、

何歳になっても子供だよ。

いつでも母さんのぬくもりが

必要な時は言ってるね。

加藤 諒晟 (中2) 金沢市

加藤 節圭 (母)

いつも私わたしに会あいに  
二時間にじかんかけて金沢かなざわに来てきくれて  
ありがとう。

どうしても一いっしょ緒よにいると

だらだらしちゃうけど

本ほん当とうはけっこう

さみしいんですよ。

誕生たんじょうび日ひにご飯はん行いくの

すっごく楽たのしみに待まってるから

絶ぜっ対たい来きてね。

上か谷みたに 千梨子ちりこ (中2 金沢市)

地震じしんがおきたことで  
生活せいがかつ大きく変かわったよね。  
こんなに早く

千梨子ちりこたちと離はなれて

暮くらすことになるなんて

思おもってなかつたし、

今いまでもこれで良よかったのか

考かんえるよ。

休やすみのたびに

会あいにいくから待まっててね。

上か谷みたに 律子りつこ (母)

この前、いっしょに

アップルパイを作った時の事を

覚えてるかな。

私は、あのアップルパイには

愛情だけでなく

工夫した思い出も

つまっているんだなと思ったよ。

今度はまた別のものに

挑戦して思い出つくろうね。

仮設住宅の狭い台所だけど、

念願のアップルパイを

一緒に作れてよかったね。

お菓子作りだけじゃなく、

何事も工夫が大事。

色々なアイデアを出して、

これからの人生

楽しい思い出を

残そうね。

嶋木 桃華 (中2) 志賀町)

竹林 江里子 (母)

地震じしんが起きて

家に住すめなくなつた時とき、

大切な人形にんぎょうを持もつてきてくれて

ありがとう。

あの時いろいろ色々不安ふあんだつたけど、

それを見た時あんしん安心と

持もつてきてくれた優やさしさに

思おもわず泣ないてしまつたよ。

ほんとう  
本ほん当とうにありがとう。

だいす  
大好きだよ。

生まれてから

ずっと住すんでいた

大好きな家とつぜんかえに突然帰かえれなくなつて、

つらかつたね。

家ものの物ものを持もつてきて

あげるぐらいしか

思おもいつかなかつたけど、

安心あんしんしてもらえて良よかつたよ。

あの家いえでの思おもい出でを

これからも大切たいせつにしようね。

新しん谷たに 奈南ななみ (中2) 志賀町

新しん谷たに 千鶴ちづる (母)

ママへ

震災しんさいの後あとから、

町まちのために仕事しごとを

頑張がんばってくれてありがとう。

夜中よなかに帰かえって来るけど朝あさになると

つかれを見せずに笑顔えがおを

見せている所ところがすごいなと思うよ。

あまり、無理むりせず、

元気げんきな笑顔を見せてね。

大好きだいすだよ。

ありがとう！

あいの言葉ことばにいやされ

疲れつかもふっ飛とんでしまおうよ！

震災しんさいで避難所ひなんじょにいた時ときに、

少しすこでも何かなにしよう

動うごくあいの姿すがたに、

頼たのもしくなったなあと思ったよ。

これからもほんわか

あいのままで

みんなをいやしてね。

山下やました あい (中2 能登町)

山下 知美ともみ (母)

地震でかほく市に

避難した後も

穴水中学校に通いたいという

私のわがままを聞いてくれて

ありがとう。

大変なはずなのに

笑顔で運転している姿は

かっこよかったよ。

でも、自分の体調に

気をつけて過ごしてね。

中済 莉央音（中2 穴水町）

莉央音へ

手紙ありがとう。

最初は往復二時間程が

きつかったけど、

車の中で学校や部活の様子を

聞くことがとても大切な時間でした。

大好きな友達と

大好きなテニスを続けると

決めた莉央音を

これからも応援しています。

中済 辰彦（父）

パパへ

いつも部活から帰ったら

ご飯を作って

待っていてくれてありがとう。

正月の地震で

家族の笑顔が急に減ったけれど、

パパのおかげで笑うことが

少しずつ増えて楽しいよ。

俺もたくさん

笑わせてあげるね。

山岸 晴翔 (中2 輪島市)

四月から二人だけの

生活になってしまいました

淋しくありませんか？

お父さんの作る

ご飯はどうですか？

少しは上達してると

自分では思っていますけど、

どうでしょうか？

二人だけの生活ですが

毎日笑顔ですね。ありがとう。

山岸 芳樹 (父)

能登半島地震から

半年ほど経ちました。

もしかしたら僕達は

死んでいたかもしれない。

けどおばあちゃんは

生きてくれた。

おいしい朝ごはんも朝の見送りも

なかったかもしれない。

家族の為に

生きてくれてありがとう。

川端 秀虎 (中2 珠州市)

震災後家族に支えられながら、

「大切なものはそばにある」と

痛感しました。

今は登校時の元気なデカイ後ろ姿、

帰宅時の丸い笑顔が

日常の幸せをくれます。

生きようとする力ある限り

生きますよ。

秀虎も命守って

生きる力を大切に。

川端 玲子 (祖母)

一月一日に起きた

能登半島地震で、

改めて、親のすごさを感じました。

一度金沢の方へ

避難した時も、

家族の事を考えて

買い物に行ったりと、

辛い思いをさせないように

さまざまな工夫をしてくれて、

ありがとうございます。

脇田 恭冴（中3 能登町）

被災し、

これからどうなるのか

途方にくれた日々もあったね。

きつと恭冴もとても

不安だったと思うけど、

避難所でも水運びを手伝ったり、

泣いて甘える小さい弟の

面倒を見てくれたりして、

本当に心強かったよ。

ありがとうございます。

脇田 綾子（母）

いま、わたし  
今、私たち

かぞく  
家族四人は前のように

ぜんいん  
家族全員で過ごせていません。

らいねん  
来年、私は高校生です。

せんたく  
選択によっては離れて

く  
暮らすかもしれないです。

いっしょ  
もう一緒に過ごせる

じかん  
時間は短いです。

早く家族全員で

ねが  
いられることを願っています。

あおき  
青木 大尚 (中3 輪島市)

へいおん  
平穏な生活が

しんさい  
震災により一瞬で

か  
変わってしまった。

べつべつ  
家族はお父さんと仕事のため

別々に暮らしています。

たが  
でも前よりお互いを

おも  
思う気持ちは強くなりました。

どんなに離れていても

きみ  
君への愛は

ふか  
深くなるばかりです。

あおき  
青木 幸紀 (母)

お父さん、地震で家が崩れて  
大変だけど

いつもご飯を作ってくださり

ありがとうございます。

今は、仮設住宅で家族と

住んでいるけど前よりも

お手伝いをするので、

一緒にこの大変な暮らしを

乗りこえていきましよう。

岡田 朋大 (中3 珠洲市)

朋大、地震の時、

お父さんとお母さん一緒に

避難出来ない中、妹と弟の

面倒をみてくれてありがとう。

朋大も潰れた家からの脱出で

怖かったのに二人を守ってくれて

ありがとう。

これからも家族皆で

楽しい日々を過ごそうね。

岡田 豪詞 (父)

# 石川県の子どもと、 子どもに関わる大人に向けて

心の教育推進協議会構成団体より

能登半島地震発生から一年が経ちました。  
この一年間、私たちは復旧・復興の日々を歩んできました。  
当たり前前の生活が当たり前ではないと気づかされた日々の中で、子どもたちの笑顔がどれほどの希望をもたらすかを改めて実感しました。  
子どもたちの未来が明るいものであることを願い、私たちは引き続き皆さんを支え続けます。  
子どもたちの笑顔、そしてその保護者の笑顔が明日も続くように、社会全体で震災の影響を受けた子どもたちの心を見守り、支えていきましょう。  
皆さんと共に、未来を築いていくために。

石川県私立中学高等学校協会

石川県高等学校校長協会

# 前進

能登の人たちのやさしさや能登の景色の美しさから  
いつもたくさんのパワーをいただいております。  
子どもたちの元気な声が響き渡り 力強く歩みを進  
められるよう石川県小中学校長会一同、支援させて  
いただきます。みなさまの安全と安心の確保と一  
日も早い復旧をお祈り申し上げます。

石川県小中学校長会 会長 才鷹 浩子  
絵：白山市立北辰中学校3年 木津 帆乃香



子どもの立場に立って社会全体で子どもたちのことを考えていきましょう

(一社)石川県私立幼稚園協会

私たちは、子どもの育ちを支えます。  
私たちは、保護者の子育てを支えます。  
私たちは、子どもと子育てにやさしい  
社会をつくれます。



石川県社会福祉協議会保育部会保育士会

こども達の笑顔は

能登復興への大きな力！

みなさんが笑顔になれるその日まで  
あたりまえの生活に戻れるその日まで  
どんな時も私達の心は

皆さんのそばにあります。

ゆっくりでもいい、休んでもいい  
一歩ずつ、ともに歩いていきましょう！



みらいず〜つともだち

みらい子育てネット

石川県地域活動連絡協議会

当たり前が

当たり前ではないと知ったあの日。  
子どもの笑顔に、  
どれだけの希望がつまっているかを  
知った復旧・復興の日々。

子どもと、その保護者の笑顔が、  
明日も続くことを願って、  
わたしたちは、皆さんを支え続けます。



石川県PTA連合会一同

# あなたがそこにいるだけで 幸せ

不安な時はお隣で一緒に過ごそう。

今から始まっていく新しい世界にむかって、  
同じ向きで一緒に歩いていこう。

石川県私立幼稚園PTA連合会

冬来たりなば  
春遠からじ

今こそ大人の大きな背中を！

石川県高等学校PTA連合会

・現在も、これまでのようにスポーツに取り組むのが難しい状況だと思いますが、前を向いていきましょう。  
スポーツで地域に元気を！！スポーツで地域に笑顔を！！

・復旧・復興は険しい道のり。でも、そんな時こそ「スポーツの力」が必要。スポーツで身体を動かす楽しさは健康な身体をつくり、他者との関わりやルールへの学びは社会性を育み、達成の喜びは努力の大切さを教えてくれます。

こうした「スポーツの力」は、人々の生き方や暮らし方にも大きな影響力を持ちます。明るく元気で、笑顔でスポーツを親しめる環境の実現をみんなで目指していきましょう。

がんばろう 能登！がんばろう 石川！

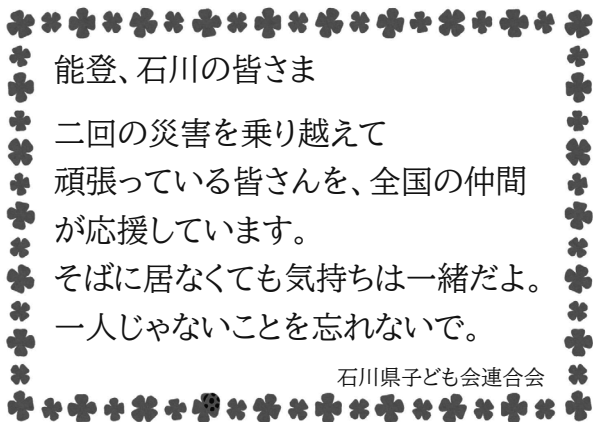
石川県スポーツ少年団一同



大変な今だからこそ、  
子どもと青年、  
若い力で手を携え、  
地域の未来を切り拓いて  
いきましょう！

石川県青年団協議会一同





能登、石川の皆さま

二回の災害を乗り越えて

頑張っている皆さんを、全国の仲間  
が応援しています。

そばに居なくても気持ちは一緒だよ。

一人じゃないことを忘れないで。

石川県子ども会連合会

あなた達の笑顔に救われる大人が  
たくさんいます。

心から笑えていますか？

がまんしていないですか？

お友達、周りの大人と話して下さい。

話せば自然に笑顔になるから…



必ず夜明けは来る！

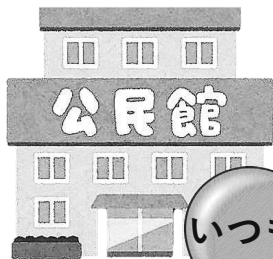
そして、新たな一步を踏み出そう！

地震にも  
大雨にも  
負けないぞ！

石川県少年補導センター連絡協議会  
(珠洲市青少年育成センター)

いつもいつも  
応援しています！

石川県少年補導センター連絡協議会  
(加賀市教育総合支援センター児童生徒・職員一同)



みんなが集まるところ  
みんなが学ぶところ  
みんながつながるところ

そして。。。笑顔になるところ

いつもいるよ

何する??  
ドキドキ

何がしたい?

ずっとずっと。。。

みんなの居場所  
いぼしょ

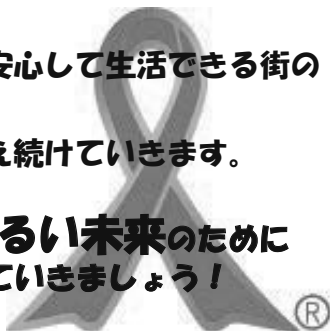
ワクワク  
いつでも。。。  
ちょっと行ってみよう！

地域のみなさんとともに

石川県公民館連合会

子どもも大人も安心して生活できる街の  
**復興**を願って、  
わたしたちも支え続けていきます。

子どもたちの**明るい未来**のために  
一緒に乗り越えていきましょう！



オレンジリボン<sup>®</sup>

石川県中央児童相談所



子どもと、そのご家族の未来が、  
より明るいものとなるよう、  
わたしたちは、皆さんの安心・  
安全を守ります。



「今、思っていること」

「今、聞いてほしいこと」

「今だから言えること」を

これからも大切な家族と

伝え合ってください。

心の教育推進協議会

\* 右記のQRコードをアクセスしていただきますと、  
「心の教育推進協議会」のホームページより、  
令和6年11月発行の親子の手紙で入賞した  
65作品を閲覧することができます。



未来へつむぐ 親子の手紙 ～能登半島地震から1年～

---

令和7年1月発行

心の教育推進協議会

石川県教育委員会事務局生涯学習課内

〒920-8575 金沢市鞍月1丁目1番地

TEL(076)225-1837 FAX(076)225-1838

---

